

令和8年度 実践研究助成に関する選考基準・審査の観点

1 基本的な選考基準

- (1) 事業内容が十分な公益性・社会性を有しているか。
- (2) 事業内容が助成の趣旨と合致しているか。
- (3) 課題、ニーズを的確に把握しているか。
- (4) 実施方法が適切で、実現可能な計画となっているか。

2 具体的な審査の観点

審査の観点は、次の①～⑩です。実践研究助成申請書の記載内容から、各審査の観点についてどれだけ充足しているかを点数化して審査を行います。

- ① **実践研究題目（テーマ）の設定理由に妥当性があるか。**
設定理由の妥当性が判断できるように、各学校等の課題や、地域などに求められているニーズを明記し、その課題の解決や、求められているニーズを充足していくために、具体的にどのように取り組んでいくかについて記入してください。
- ② **実践研究計画に具体性があるか。**
月ごと、学期ごとなど、取組内容を具体的に記入してください。
- ③ **個人の活動ではなく組織としての取組となっているか。**
組織体制を示すなど、組織としての取組となっていることが判断できるように記入してください。
- ④ **実践研究計画から児童・生徒等の取組が具体的に読み取れるか。**
児童・生徒の具体的な取組を記入してください。
- ⑤ **実践研究計画から実現可能な取組であることが読み取れるか。**
- ⑥ **自校（園）以外との連携による成果が期待できるか。**
連携先を記入し、連携による期待される成果を記入してください。
連携先は、個人・団体を問いません。
連携先の例：PTA、他の学校・園、地域人材、大学、企業、官庁など
- ⑦ **実践研究に対して、どれだけ意欲的に取り組もうとしているか。**
新規での応募の場合、新規性（これまでにない新たな取組）や特色など、強みとなる内容を記入してください。
前年度に引き続いて応募の場合、より充実・発展させることを意識した内容となっているかがわかるように、前年度との比較を記入してください。
- ⑧ **成果指標が適切に設定されているか。**
期待される成果を記入してください。
それを測る成果指標を明記し、指標がどうなったら成果があったといえるかを記入してください。
- ⑨ **今後の課題意識があるか。**
今年度、この実践研究を実施する上での、具体的な課題を記入してください。
- ⑩ **助成金の使途が、実践研究計画に沿った内容となっているか。**
助成金で購入する物を、誰が、何のために使用するかを実践研究計画に記載してください。